

※問7以降で使われる用語は次のように定義します。

① **メンバーとは…**

事業・活動の実施や運営にあたって、中核的な役割を担う方々（構成員）

② **関わっている人・団体とは…**

メンバー以外で、事業・活動に協力したり支援したりする人・団体

③ **参加者とは…**

① ②以外で事業・活動に参加する地域住民の方々

問7. それぞれの事業・活動の**メンバー**（**事業・活動の実施・運営を行う人**）はどのような年齢層で構成されていますか。該当する年齢層すべてに○をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
中学生以下の子ども	1	1	1
高校生・大学生など	2	2	2
20代～30代	3	3	3
40代～60代	4	4	4
70代以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問8. この2～3年で、それぞれの事業・活動の**メンバー**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問9. それぞれの事業・活動の**メンバー**は、その活動以外でもつながっていると思いますか。以下の選択肢のうち 1つに○をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
多くのメンバーがつながっていると思う	1	1	1
半分位のメンバーがつながっていると思う	2	2	2
少数のメンバーがつながっていると思う	3	3	3
つながっていないと思う	4	4	4
わからない	5	5	5

問10. それぞれの事業・活動は次のような地域資源（地域住民や商店街、住民ボランティア等）を活用していますか。**関わっている人・団体（メンバー以外で、事業・活動に協力したり支援したりする人・団体）すべてに○をつけてください。**

	事例1	事例2	事例3
地域住民や住民ボランティア	1	1	1
自治会・町会等	2	2	2
民生委員児童委員協議会	3	3	3
学校・幼稚園・保育園など	4	4	4
地元商店街・地元企業	5	5	5
福祉サービスの事業者や施設・医療機関	6	6	6
自治体	7	7	7
その他（ ）	8	8	8
特になし	9	9	9
わからない	10	10	10

問11. この2～3年で、それぞれの事業・活動に**関わっている人・団体**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。  
ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問12. この2～3年で、それぞれの事業・活動への**参加者（メンバー、関わっている人・団体以外で、事業・活動に参加する地域住民）**の数は増えていると思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問13. この2～3年で、**参加者**以外の地域住民から、それぞれの事業・活動は良い事業・活動だと認知されてきたと思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問14. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者か否かに関わらず）同士の信頼や「お互いさま意識」は増したと思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問15. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者か否かに関わらず）の健康や福祉に対する意識は高まったと思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問16. それぞれの事業・活動は、その地域のソーシャルキャピタルの発展に貢献していると思いますか。

※「ソーシャルキャピタル」とは、組織や地域社会における「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」「ご近所の底力」などによる連帯感・まとまり・問題解決力とされています

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問17. その事業・活動が地域の健康や福祉の向上に役立っている点もしくは理由をご記入ください。

事例1

--

事例2

--

事例3

--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、返信用封筒に入れてご投函ください。

投函締切：10月30日（水）

平成25年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

## 地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動におけるソーシャルキャピタルの活用に関する調査 (調査票)

### 本調査で対象とする事例

あなたが、職員（仕事）として主催したり、側面的に支援している「地域保健事業や市民活動」のうち、ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う「地域保健事業や市民活動」の事例を回答して下さい。

具体的な例として、以下の①～③のような事業・活動が考えられます。

- ① 健康づくりや母子などの各種保健活動を進める事業・活動  
各種介護予防事業、子育て教室など
- ② 援助が必要な人を支援する事業・活動  
家族介護者・認知症家族支援、難病家族支援、障害児・者支援、  
高齢者見守り支援など
- ③ 住民同士の関係性や支え合いを醸成する事業・活動  
高齢者ふれあい活動、育児サークル、世代間交流活動など

### 事例をご記入いただくにあたって

- ◆ あなたが担当されている地域（問1参照）で実施されている事業・活動について、上記①～③の例を参考に、3つの事業・活動をご推薦（ご記入）ください。
- ◆ 事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

### その他の留意点

- ◆ 知り得たデータは、本研究目的以外で使用することはありません。
- ◆ 結果の公表は、統計的に処理し、回答者個人や地域を特定することはありません。
- ◆ 研究へのご参加は自由意思です。研究にご協力いただけなかった場合でも、不利益になるようなことは一切ありません。なお、調査票の返信をもって本調査に同意いただけましたものとさせていただきます。
- ◆ アンケートは6ページまであります。可能な限りすべての質問項目にご記入ください。
- ◆ ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒にて、10月30日（水）までにご投函くださいますようお願いいたします。

### 【お問い合わせ先】

東京都健康長寿医療センター研究所（東京都老人総合研究所）  
社会参加と地域保健研究チーム  
担当：長谷部 雅美、李 曠娥（イギョンア）、村山 幸子  
住所：〒173-0015 板橋区栄町 35-2  
電話：03-3964-3241（内線 4254）

問1. あなたがご担当されている地域を、以下の地域包括支援センターの名前からお選び下さい。  
 複数の地域をご担当されている場合は、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 西部	2. 東部	3. 多摩センター	4. 中部
5. 北部	6. 南部	7. その他 ( )	

問2. あなたの担当地域で実施されている「地域保健事業や市民活動」のうち、**ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っている**と思う3つの事業・活動について、該当地域、事業・活動の名称、おおまかな概要をそれぞれご記入ください。事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もありますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

例	該当地域	1. ○○ <input checked="" type="radio"/> 2. ○○ <input type="radio"/> 3. ○○ <input type="radio"/> 4. ○○ <input type="radio"/>
	名称	はつらつ公園体操
	概要	△△町の○○公園に高齢者が集まり、毎週火曜日の朝、健康体操をしている。体操ボランティアが参加者同士の交流を促している。

事例1	該当地域	1. 西部 2. 東部 3. 多摩センター 4. 中部 5. 北部 6. 南部 7. その他 ( )
	名称	
	概要	

事例2	該当地域	1. 西部 2. 東部 3. 多摩センター 4. 中部 5. 北部 6. 南部 7. その他 ( )
	名称	
	概要	

事例3	該当地域	1. 西部 2. 東部 3. 多摩センター 4. 中部 5. 北部 6. 南部 7. その他 ( )
	名称	
	概要	

問3. 問2でお答え頂いたそれぞれの事業・活動にあなたが関わって何年くらいになりますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
1年未満	1	1	1
1年以上3年未満	2	2	2
3年以上5年未満	3	3	3
5年以上10年未満	4	4	4
10年以上	5	5	5

問4. それぞれの事業・活動のおおよその活動継続年数はどの位でしょうか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
1年未満	1	1	1
1年以上3年未満	2	2	2
3年以上5年未満	3	3	3
5年以上10年未満	4	4	4
10年以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問5. それぞれの事業・活動が行われている場所はおおよそ何箇所ぐらいありますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
1箇所	1	1	1
2～4箇所	2	2	2
5箇所以上	3	3	3
わからない	4	4	4

問6. それぞれの事業・活動について、主な活動地域の範囲を教えてください。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
だいたい自治会・町会位の範囲	1	1	1
だいたい小学校区位の範囲	2	2	2
だいたい中学校区位の範囲	3	3	3
市内全域	4	4	4
わからない	5	5	5

※問7以降で使われる用語は次のように定義します。

①メンバーとは…

事業・活動の実施や運営を行う人

②関わっている人・団体とは…

メンバー以外で、事業・活動に協力したり支援したりする人・団体

③参加者とは…

①②以外で、事業・活動に参加する地域住民

問7. それぞれの事業・活動の**メンバー**は、どのような年齢層で構成されていますか。  
該当する年齢層すべてに〇をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
中学生以下の子ども	1	1	1
高校生・大学生など	2	2	2
20代～30代	3	3	3
40代～60代	4	4	4
70代以上	5	5	5
わからない	6	6	6

問8. この2～3年で、それぞれの事業・活動の**メンバー**の数は増えていると思いますか。  
以下の選択肢のうち1つに〇をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、  
発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
増えていると思う	1	1	1
変わらないと思う	2	2	2
減っていると思う	3	3	3
わからない	4	4	4

問9. それぞれの事業・活動の**メンバー**は、その活動以外でもつながっていると思いますか。  
以下の選択肢のうち 1つに〇をつけてください。

	事例1	事例2	事例3
多くのメンバーがつながっていると思う	1	1	1
半分位のメンバーがつながっていると思う	2	2	2
少数のメンバーがつながっていると思う	3	3	3
つながっていないと思う	4	4	4
わからない	5	5	5





問13. この2～3年で、**参加者**以外の地域住民から、それぞれの事業・活動は良い事業・活動だと認知されてきたと思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問14. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者か否かに関わらず）同士の信頼や「お互いさま意識」は増したと思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問15. この2～3年で、それぞれの事業・活動によって、その地域の住民（参加者か否かに関わらず）の健康や福祉に対する意識は高まったと思いますか。以下の選択肢のうち1つに○をつけてください。ただし、発足2年未満の場合は、発足から現在にかけての間でお答え下さい。

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問16. それぞれの事業・活動は、その地域のソーシャルキャピタルの発展に貢献していると思いますか。

※「ソーシャルキャピタル」とは、組織や地域社会における「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」「ご近所の底力」などによる連帯感・まとまり・問題解決力とされています

	事例1	事例2	事例3
そう思う	1	1	1
どちらかというと思う	2	2	2
どちらかというと思わない	3	3	3
そう思わない	4	4	4
わからない	5	5	5

問17. その事業・活動が地域の健康や福祉の向上に役立っている点もしくは理由をご記入ください。

事例1

事例2

事例3

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、返信用封筒に入れてご投函ください。

投函締切：10月30日（水）

平成25年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

## 地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動におけるソーシャルキャピタルの活用に関する調査のお願い

東京都健康長寿医療センター研究所  
社会参加と地域保健研究チーム  
研究部長 藤原佳典

### 本調査の目的

- ◆ 本調査では、地域の健康や福祉の向上を目指した「地域保健事業や市民活動」の事例を収集し、その事業・活動および運営者・団体の状況とソーシャルキャピタルとの関連性を検証します。
- ◆ それにより、ソーシャルキャピタルが活用または醸成される事業・活動の特徴を明らかにし、地域の健康や福祉の向上を目指した地域保健事業や市民活動におけるソーシャルキャピタルの活用方法を提示することを目的としています。

「**ソーシャルキャピタル**」とは、組織や地域社会における「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」「ご近所の底力」などによる連帯感・まとまり・問題解決力とされています。ソーシャルキャピタルが豊かな地域は、関係者間の信頼感・助け合い等に基づく絆や団結が強い地域であると考えられています。

また、厚生労働省による「地域保健対策の推進に関する基本的な指針（平成24年7月改正）」において、「ソーシャルキャピタルを活用した住民との協働により、地域保健基盤を構築し、地域住民の健康の保持及び増進並びに地域住民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指した地域保健対策を総合的に推進することが必要である」とされています。

\* 本調査は、平成25年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「地域保健事業におけるソーシャルキャピタルの活用に関する研究」（研究代表者：藤原佳典）の一環で実施します。

### 調査結果の活用

- ◆ 地域保健・介護予防事業や市民活動に対し、ソーシャルキャピタルを活かした支援方法を提案します。
- ◆ 保健師等、地域住民の健康づくりを担う専門家や職員を支援する研修に役立っています。
- ◆ 地域の健康や福祉の向上に必要な制度や政策に役立っています。

## 本調査で対象とする事例

あなたが、介護予防推進交付金事業の助成課題において、ソーシャルキャピタルを活かして地域の健康や福祉の向上に役立っていると思う「地域保健・介護予防事業や市民活動」の事例を回答して下さい。

具体的な例として、以下の①～③のような事業・活動が考えられます。

- ① 健康づくりや母子などの各種保健活動を進める事業・活動  
各種介護予防事業、子育て教室など
- ② 援助が必要な人を支援する事業・活動  
家族介護者・認知症家族支援、難病家族支援、障害児・者支援、  
高齢者見守り支援など
- ③ 住民同士の関係性や支え合いを醸成する事業・活動  
高齢者ふれあい活動、育児サークル、世代間交流活動など

## 事例をご記入いただくにあたって

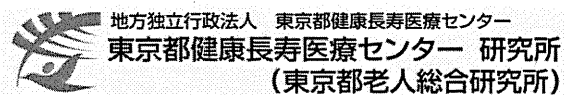
- ◆ 事業・活動の詳細が分からない、判断がつきにくい場合もあるかと思いますが、あなたの主観的な判断や印象で結構です。

## ご記入上の注意

- ◆ アンケートは1事業2ページです。事業の数だけご記入ください。

## 返送先・問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター研究所（東京都老人総合研究所）  
社会参加と地域保健研究チーム  
03-3964-3241 担当：深谷太郎（内線4258）  
藤原佳典（内線4257）



問1. ご記入いただく事業・活動（以下、「その事業」とします）の名称と大まかな活動の概要、地域の健康や福祉の向上に役立っていると考えられるポイントもしくは理由をご記入ください。

名 称	
概 要	
ポイント	

問2. その事業のおおよその活動継続年数はどの位でしょうか。（〇は1つ）

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 一年未満     | 2. 一年以上三年未満 | 3. 三年以上五年未満 |
| 4. 五年以上十年未満 | 5. 十年以上     | 6. わからない    |

問3. その事業が行われている場所はおおよそ何箇所ぐらいありますか。（〇は1つ）

- |        |          |          |          |
|--------|----------|----------|----------|
| 1. 一箇所 | 2. 二～四箇所 | 3. 五箇所以上 | 4. わからない |
|--------|----------|----------|----------|

問4. その事業について、主な活動地域の範囲を教えてください。（〇は1つ）

- |                   |                   |          |
|-------------------|-------------------|----------|
| 1. だいたい町会内くらいの範囲  | 2. だいたい小学校区くらいの範囲 |          |
| 3. だいたい中学校区くらいの範囲 | 4. それより広い市内       | 5. わからない |

問5. その事業の実施や運営を行う人（構成員）はどのような年齢層で構成されていますか。該当する年齢層全てに〇をつけてください。

- |              |              |          |          |
|--------------|--------------|----------|----------|
| 1. 中学生以下の子ども | 2. 高校生・大学生など |          |          |
| 3. 20代～30代   | 4. 40代～60代   | 5. 70代以上 | 6. わからない |

問6. この2～3年で、その事業の実施や運営を行う人（構成員）の数は増えていると思いますか。（〇は1つ）

- |             |             |             |          |
|-------------|-------------|-------------|----------|
| 1. 増えていると思う | 2. 変わらないと思う | 3. 減っていると思う | 4. わからない |
|-------------|-------------|-------------|----------|

問7. その事業の実施や運営を行う人（構成員）は、その活動以外でもつながっていると思いますか。（〇は1つ）

- |                       |                        |          |
|-----------------------|------------------------|----------|
| 1. 多くのメンバーがつながっていると思う | 2. 半分位のメンバーがつながっていると思う |          |
| 3. 少数のメンバーがつながっていると思う | 4. つながっていないと思う         | 5. わからない |



## 資料 7

ソーシャル・キャピタル2次調査 インタビューガイド 対象者：活動の中心となるメンバー（住民）

具体的な内容		備考
活動の立ち上げの経緯		
発足時期	活動が立ち上がったから、どれくらいの期間が経ちますか	活動継続年数を伺う。
発足のいきさつ	どのような経緯で活動が立ち上がりましたか	<住民>立ち上げ前の意識等。 <自治体>立ち上げ前把握していた住民のニーズ等。  もともと活動や取組が起こりやすい地域なのか。 例：地域の行事(祭り等)、「お互い様・助け合い(結)」などの地域の文化特性、習慣(公共の場に集う等)、コミュニティの発展の歴史等。
	活動は容易に立ち上がり、開始されましたか 他地域と比較した場合、関係したと考えられる地域特性(文化・歴史、環境等)はありますか	
当時の課題と対応方法	活動を立ち上げ開始するにあたって、どのような困難がありましたか。	
	困難に対して、(当時)どのように対処しましたか。	
発足時のメンバー	発足時立ち上げを中心的に行ったメンバーの(おおよその)人数を教えてください。	
	発足時立ち上げを中心的に行ったメンバーの年齢層・男女比を教えてください。	
	発足時立ち上げを中心に行ったメンバーは、もともと居住している地の人のみか、新たに居住した人も含まれていたか。メンバー同士の関係はできていたか。	中心となるメンバーの特性、メンバー間の関係性。
	立ち上げ・運営に関わろう、と気持ちをつなぎとめたもの、決定づけたものは何とおもいますか。	立ち上げ・運営に携わろうと考えた動機やつなぎとめたものについて、 何がこころを動かしたのかについて。
発足当初の活動	活動を立ち上げて間もない頃は、主にどのような活動をされていましたか。	活動内容、目的、頻度、範囲など。
活動の継続や発展(拡大)に向けて		
行政等との関係	行政の関連部署は立ち上げ前から活動が軌道に乗り発展するまで、どのような支援をどの程度行ってきましたか。	
活動の拡大・発展(変化)	発足時から最近までに、 ①活動内容(イベントや事業・講座数、活動拠点等) ②メンバー ③関与する個人や団体 ④参加者にどのような変化がありましたか。(参加者数の増減、内容・質の変化、活動の発展等)	発足当時からの変移について、 なぜそのように変化・発展したと考えるか。
活動の連携	地域の団体・組織(自治会、民生委員、他のグループ等)や行政等との連携をどのように図ってきたか。	困難はあったか、工夫があったか、なぜその団体・組織と連携を図ろうと考えたか。 活動を立ち上げる前の、その団体・組織、行政との関係について。
	活動では、何か地域資源(地域住民や商店街、住民ボランティア等)を活用してきましたか。	活用は容易だったか(協力をすぐに得られたか)等。
互酬性	活動において、中心となるメンバーや団体・参加者等の関係に変化は起こりましたか。 活動を通して、中心となるメンバーや団体・参加者等の中で、「互酬性」は醸成されたと思いますか。	活動関係者間の互酬性の状況(お互いに助け合っているか)(発足当時からの変化)。 発足当時と変化があった場合には、なぜそのような変化があったと思うか尋ねる。
	活動を実施することで、活動の中心となるメンバーと地域住民の相互(双方)にとって、どのような変化が	お互い様意識について、どのように変化したか。 活動が地域に根付くために必要な要件を探る。
信頼	活動において、中心となるメンバーや団体・参加者等は、お互いに信頼し合っていますか。 活動を通して、中心となるメンバーや団体・参加者等の中で、「信頼」は醸成されたと思いますか。	活動関係者間の信頼の状況(発足当時からの変化)。 発足当時と変化があった場合には、なぜそのような変化があったと思うか。
愛着	活動を通じて、中心となるメンバーや団体・参加者等は、活動および地域への「愛着」を感じていますか。 活動を通じて、中心となるメンバーや団体・参加者等の中で、活動および地域への「愛着」は醸成されたと思いますか。	活動関係者間の愛着の状況(発足当時からの変化)。 発足当時と変化があった場合には、なぜそのような変化があったのかを尋ねる。
活動を行ううえでの課題と対応方法	活動を維持(発展)するにあたって、どのような困難がありましたか。	グループメンバー間、地域の人のびととの、互酬性・信頼・愛着等の変化に伴い、困難(内容・程度)も変化したか。 現在も同様の課題に直面しているか。
	それらの課題に対して、どのような対応・工夫をしましたか。	
活動の継続や発展のために必要な要件	何故、この地域でこの活動がうまくいっている(継続・発展している)と思いますか。	どんな要件(工夫)が必要だと思うか。 例)地域特性(文化、歴史、慣習等)、活動の立ち上げの手順、行政の支援(内容、頻度、時期等)、キーパーソン等。
活動を実施したことによる効果		
地域における効果(地域の変化)	地域住民(参加者やそうでない人も含む)同士の「お互い様」の意識や、信頼は増したと思いますか。	
	地域住民(参加者やそうでない人も含む)の地域への関心や愛着が高まったと思いますか。	変化とは地域における人と人のつながりや愛着、地域や互いへの関心の変化など。
	地域全体に何か変化がもたらされたと思いますか。	具体的な変化について尋ねる。



#### IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
稲葉陽二	経済格差とソーシャル・キャピタル	イチロー・カワチ, 等々力英美	ソーシャル・キャピタルと地域の力 —沖縄から考える健康と長寿	日本評論社	東京	2013	239 (pp.79-94)
稲葉陽二	What's Wrong with Social Capital? Critiques from Social Science	Ichiro Kawachi, Soshi Takao, S.V.Subramanian	Global Perspective on Social Capital and Health	Springer	New York	2013	349(pp.323 -342)
高尾総司	序章、 第2章 職場のソーシ ャル・キャピタル	イチロー・カワチ, 高 尾総司、ほか	ソーシャル・キャピタルと健康政策	日本評論社	東京	2013	455 (pp.1-32, 33-80)
高尾総司	Introduction Workplace social capital and health	Ichiro Kawachi, Soshi Takao, S.V.Subramanian	Global Perspective on Social Capital and Health	Springer	New York	2013	349(pp.1- 22, 23-64)
藤原佳典	第9章 健康長寿をめ ざしたソーシャル・キャ ピタル介入	イチロー・カワチ, 高 尾総司、ほか	ソーシャル・キャピタルと健康政策	日本評論社	東京	2013	455 (pp.257-30 0)
藤原佳典	Social Capital Interventions to Promote Healthy Aging	Ichiro Kawachi, Soshi Takao, S.V.Subramanian	Global Perspective on Social Capital and Health	Springer	New York	2013	349(pp.205 -238)

雑誌

著者氏名	雑誌タイトル名	雑誌名	巻号	ページ	出版年
野口正行ほか 高尾総司(コメント)	地域の見守り体制をつくる 吉備中央町におけるソーシャル・キャピタル育成 の試み	保健師ジャーナル	70(5)	418-422	2014
澤岡詩野	地域での居場所創りと高齢者の健康増進	Geriatric Medicine	51(9)	923-926	2013
藤原佳典	ボランティア活動長続きマニュアル	ボランティア活動長続きマニュアル		1-8	2014

学会発表

発表者氏名	発表タイトル	大会名	場所	開催日	巻号	ページ
稲葉陽二	ソーシャルキャピタルの概念について -経済学の立場から(特別講演)	第2回 日本公衆衛生看護学会学術集会	小田原	2014.1. 12-13	講演集 2	43
長谷部雅美, 小池高史, 深谷太郎, 野中久美子, 小林江里香, 西真理子, 村山陽, 鈴木宏幸, 藤原佳典	認知的ソーシャル・キャピタルにおける 一般的な信頼と地域への信頼の乖離に関する検討 -首都圏高齢者の地域包括的孤立予防研究 (CAPITALstudy)より-	第55回 日本老年社会学会大会	大阪	2013.6. 5-6	35(2)	266
長谷部雅美, 小池高史, 深谷太郎, 野中久美子, 小林江里香, 西真理子, 村山陽, 鈴木宏幸, 藤原佳典	独居高齢者における互酬性とソーシャル・サポート の健康への影響	第72回 日本公衆衛生学会総会	三重	2013.10. 23-25	60(10)	468

## V. 研究成果の刊行物・別刷